

競技注意事項

1. 本競技会は2019年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行い、大阪インターハイ（中央大会）出場者の決定は、葦音137号230・231頁の記載通りに行う。

2. 招集（コール）について

(1) 招集所 メインスタンド下室内練習場内に設ける。

(2) 招集は競技開始時刻前の下記時刻で行う。

招集時間	トラック	跳躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	90分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	80分前

(3) 競技者は招集開始時刻には招集所で待機し、競技者係から点呼を受けナンバーカード・腰ナンバーカードとスパイクの確認を受ける。

(4) 2種目を同時刻に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が招集所にある「多種目同時出場届」に必要事項を記入し提出すること。その場合に限り代理人の点呼を認める。（多種目同時出場届は招集所で準備）

(5) リレー競技の招集については以下の要領で行う。

① 第1組招集完了時刻の1時間前までに競技者係にオーダー用紙を提出する。

② メンバー全員が点呼を受ける。多種目に出場している者は上記（4）に準ずる。

(6) 欠場する場合は、欠場届を招集開始時刻までに競技者係へ必ず提出すること。

(7) 混成競技（八種競技・七種競技）は、両日とも最初の種目のみ招集所で点呼を受け、以後の種目は、混成競技係が指示する時刻に現地で点呼を受けること。

(8) 多種目同時出場届・欠場届は招集開始時刻までに招集所の競技者係まで提出すること。

3. ナンバーカードは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。

トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付け、競技終了後は必ず返却すること。

4. 運営方法

(1) トラック種目では、100mと200mは予選を行い、その記録上位48名で各6組の決勝を行う。それ以外の種目はタイム決勝とする。100m・200m予選で48番目の記録が、1/100秒まで同タイムの時は、1/1000秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。100mにおいては男子は1着+〇名、女子は2着+〇名が決勝に進出できることとする。200mにおいては男子は1着+〇名、女子は2着+〇名が決勝に進出できることとする。

(2) 800mは原則として1レーン2名でスタートし、120mでオープンとする。

(3) 競技運営上、周回遅れとなった者はタスキを肩からかけること。また、ラスト1周で5000mでは19分、3000mでは14分、3000mSCでは12分をこえる選手は競技を打ち切る。

競歩種目においてはラスト1周で男子5000mWでは33分、女子5000mWでは37分をこえる選手は競歩主任が競技を打ち切る。

(4) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで行い、120mでオープンとする。

(5) フィールド競技においては、トップ8を行う。

(6) バーの上げ方 走高跳 男子1.50(練習) 1.55-1.60-1.65-1.70-1.75 以降3cm ずつ

女子1.20(練習) 1.25-1.30-1.35-1.40-1.45 以降3cm ずつ

八種競技 1.35(練習) 1.40-5cm ずつ-1.75 以降3cm ずつ

七種競技 1.15(練習) 1.20-5cm ずつ-1.45 以降3cm ずつ

棒高跳 男子2.80(練習) 3.00-3.20 以降10cm ずつ

女子2.00(練習) 2.10 以降10cm ずつ

(7)フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人または連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

(8)走幅跳の測定ラインは、男子5m50・女子4m30とする。三段跳の測定ラインは男子は11m80とする。

(9)投てき競技はすべてフィールド内で行う。いずれの種目の投てき練習も競技場所に入ってから審判員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。

(10)各自が持参した投てき用やりは検定を受けて使用する。(競技開始90～60分前までに器具庫前に持参すること)

5. 表彰 各種目6位まで賞状

(1)決勝がある100m・200mの表彰は順位優先とし、各組1位の者を記録順に1位から6位とする。

(2)リレーの賞状は1校5枚とする。

6. 補助員 8:00集合(正面スタンド前走幅跳ピット中央付近)

両日とも参加人数が9人以内の学校は1名、10～19人は2名、20名以上は3名だすこと。

競技終了後の清掃、1日目は2地区で、2日目は1地区で行う。参加各校で決めた清掃担当者は競技終了直後に集合すること。

7. その他

(1)競技会開始前のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。マーシャルの役員の指示に従い、練習は競技開始30分前までとする。

1日目(5/3)

長距離用周回練習：1・2レーン *ジョグはレーン外

直線での短距離練習：ホームストレート6・7レーン

直線での短距離練習：バックストレート7・8レーン バトン練習は3・4・5・6レーン

100mHの練習はホームストレート8レーンで行う。ただし混成競技出場者に限る

練習後に必ず、マーカー(テープ)をはがすこと。 *バトン練習は初日のみ

2日目(5/4)

長距離用周回練習：1・2レーン *ジョグはレーン外

短距離練習はホームストレート8レーン、バックストレート7・8レーン

ハードル練習は2日目のみとする(女子混成競技を除く)。100mHは3・4レーン、110mHは6・7レーン、5レーンは戻りレーンとする。

400mHの練習：女子は3・4レーン 男子は5・6レーン、

(2)競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止です。ゴール後は本部前を通らずに戻る。トラック周囲を通行することは競技の妨げになるので、スタンド通路を通行すること。

- (3) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用してはいけない。
- (4) フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。また観戦・応援はスタンドで行い、トラック周囲には出てこないこと。
- (5) 正面スタンドには部旗等を掲げない。テントは正面スタンド中段通路より上で、屋根のない所に設置する。
- (6) 貴重品・私物の管理は各校で責任を持つこと。盗難には十分に注意すること。
- (7) ケガ人等が出た場合、本部で応急手当は行う。
- (8) ゴミは分別収集するので各校でマジックペン(黒色・青色・赤色)を持参しゴミ袋に学校名を記入すること。競技終了後に本部でチェックを受けた後、ゴミ集積場に間違わないように注意して捨てること。競技場内のゴミ箱は使用禁止。
- (9) 駐輪禁止：点字ブロック周辺・正面階段前には自転車止めないこと。
- (10) 代表者会議は5月3日(金)のみ行い、8：40正面玄関前。各校1名必ず出席すること。★プログラム持参★
- (11) 学校受付は両日7：30から正面玄関ホールで行う。

第72回大阪高等学校陸上競技選手権大会(中央大会)について

1. 地区予選会(今大会)にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
 2. シード権(葦音記載の各種目昨年度ランキング6位以内の者に与えられる。ただし、競歩・混成・女子[三段跳・棒高跳・ハンマー投]は4位以内の者とする)種目にエントリーした選手は、今大会に出場できないため、参加料を顧問に返金する。
 3. 今大会各種目の上位24名が中央大会に出場できる。(女子の棒高跳・三段跳・ハンマー投は上位16名)ただし、次の種目は以下の規定に従って中央大会に出場できる。
 - ・100m・200mは今大会の決勝の各組上位4名
 - ・4×100mRは今大会にエントリーしたチームすべて・4×400mRは今大会の記録上位32チーム
 - ・競歩は、3・4地区も合わせた全体で記録上位者とシード選手の合計30名
 - ・混成競技は、3・4地区も合わせた全体で記録上位者16名とシード選手(混成競技・競歩の中央大会出場者は、判明しだい連絡する)
 - ・女子棒高跳、女子三段跳、女子ハンマー投は1・2地区で上位16名、3・4地区で上位16名の合計32名とシード選手
 - (1) トラック競技で、24位(4×400mRは32位)の記録が1/100秒まで同じ場合は、1/1000秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。フィールド競技で24位の同記録が複数の場合は抽選とする。
 - (2) 出場の可否は、決勝記録の発表(放送または掲示)で確認すること。今大会中に改めての連絡はしない。今大会各種目の申込人数が24名以下の種目(4×400mRは32チーム以下)にエントリーした者は、全員が中央大会に出場できる。競技において欠場・コールもれ・失格などがあっても出場できる。
 - (3) 3・4地区の地区予選会のエントリー数が中央大会の出場規定数に不足する種目がある場合は、1・2地区予選会の25位以降からその不足分を補充する。
 4. 中央大会の出場辞退について
 - (1) 決勝記録の発表後、本大会中に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。
 - (2) 辞退届が提出された場合は、25位以降の者から補充する。ただし、決勝を行う100m・200mは、決勝各組5位の者で記録上位の者を補充する。(1/100秒まで同タイムの時は1/1000秒の単位で判定し、それでも判定できない時は抽選する)また、フィールド競技で25位が同記録の場合は抽選を行う。
 5. リレーメンバーの変更について
中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了までにリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。(変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出しない。)
 6. 中央大会の出場者への連絡文書を、5月中頃に各校に送付する。
 7. 各校は、参加選手一覧表を男女別に作成し、校長印・顧問印を押印の上、5月25日(土)の学校受付時に提出すること。
 - ・プログラム代 500円。中央大会のプログラムに記載された者全員(リレーの補欠も含む)が購入する
 - ・参加料(個人種目1種目500円 混成種目1000円 リレー1種目1000円)を納入すること。
 8. 中央大会の日程
5月25日(土)・26日(日)・27日(月) 9時30分競技開始 ヤンマーフィールド長居
- ◎本大会で使用した個人情報につきましては、本大会の目的以外に使用することはありません。